

固定化フィシン (アガロース樹脂)

Cat. No. NATE-1865

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 固定化フィシンは、4mMまたは25mMのシステインの存在下で、それぞれマウスIgG1をF(ab')₂またはFab断片に特異的に切断します。他の種やアイソタイプからの断片生成も、システイン濃度や他の消化パラメータの変更を通じて可能であるかもしれません。イチジクラテックスから分離されたフィシンは、プロメラインやパパインと類似の活性部位を持つチオールプロテアーゼですが、マウスIgG1をフィシンで消化する際の収率と免疫反応性はより良好です。フィシンは、電荷のないアミノ酸と芳香族アミノ酸を含む結合に作用します。フィシン (25K) はpH 4-9.5で効果的で、最適pHは6.5です。フィシンの固定化は、pH性、熱、自己分解に耐える安定性を向上させます。固定化は、サンプルの消化が継続する結果として生じる抗体-酵素アダクトの可能性を排除します。さらに、固定化によりフィシンを再利用することが可能になります。

別名 不動化フィシン

製品情報

形態 33% スラリー (すなわち、沈殿した樹脂5mLはスラリー15mLに相当します)

EC番号 EC 3.4.22.3

活性 ~1.2mg/mLの沈殿した樹脂

保管・発送情報

保存方法 直射日光を避け、乾燥した涼しい通気の良い場所で、元の容器に保管してください。温度は2-8°Cの範囲で保つこと。